

“少女と女性の視点で社会をよりよく変えよう” 第4回コミュニティアクション チャレンジ100アワード受賞者決定

報道関係者各位

公益社団法人ガールスカウト日本連盟（東京都渋谷区 会長：和田照子）は、第4回「コミュニティアクション チャレンジ100アワード」の受賞者を決定しました。

■ 第4回「コミュニティアクション チャレンジ100アワード」

住んでいる地域や、学校、職場など、身近にいる人々の集まりであるコミュニティ（社会）で起きている問題に対して、少女と女性の視点に立ち解決につながった活動を募集し、年度ごとに審査のうえ、優れた活動を表彰します。

4回目となる本年は、26件の応募があり、ガールスカウト審査員および外部審査員による厳正な審査のもと、受賞者を決定しました。



表彰式 2022年10月16日（日）12：30～14：40

会場 SYDホール（東京都渋谷区）

※表彰式は「ガールズメッセ」のプログラムの一つとしておこなわれます。

取材のお申し込みは担当までお問い合わせください。

【コミュニティアクション チャレンジ100アワード】概要

ガールスカウト日本連盟は、日本のガールスカウト運動100周年の記念事業の一つとしてこの賞を創設しました。より多くの人々が「少女と女性の視点に立ったよりよい社会」の構築に寄与し、持続可能な社会を実現することを目指しています。

募集期間：2021年4月1日～2022年3月31日

最終審査委員：

- ・審査員長 橋本ヒロ子氏（学校法人十文字学園女子大学名誉教授・国連ウイメン日本協会会長）
- ・高木幹夫氏（日能研 代表取締役）
- ・ガールスカウト日本連盟 役員および教育・指導者委員会委員長

受賞特典：グランプリ：表彰状の授与 ゴールドピン贈呈 賞金10万円

コミュニティアクション賞：表彰状の授与 シルバーピン贈呈 賞金5万円

チャレンジ賞：表彰状の授与

日能研賞：表彰状授与 他副賞予定

ウェブサイト：<https://www.girlscout.or.jp/cac100/>

<p>グランプリ</p>	<p>該当なし</p>
<p>コミュニティ アクション賞 (2グループ)</p>	<p>「生理の貧困をなくそう！」 大口明光学園に集い5人の有志たち（高校生） 「生理の貧困」に関して校内生徒への理解を促進する活動をおこない、地元自治体「男女共同参画基本計画支援」に募金活動で貢献。公共施設への生理用品設置を促進した。</p>  <p>「Let's help somebody world with a memory」 Pitty（中学生・高校生） 学校でハンドメイド品を販売するグループを立ち上げ、売上を寄付することで、世界の女性や少女の誰もが同時に幸せを叶えることを目指した。</p> 
<p>チャレンジ賞 (3グループ)</p>	<p>「わたしとからだプロジェクト」 CHERISH!（成人） ガールスカウト会員の中高生を対象に、思春期の女性の体のことを知ること、性犯罪被害を予防するための啓発活動を実施した。</p>  <p>『「ジェンダーギャップを考えるカルタ」の制作を通じたSDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成」 帝塚山大学法学部「専門基礎演習B（末吉ゼミ）」（大学生） ジェンダーギャップをゼミのテーマに取り組み、啓発のための成果物としてカルタを制作。複数メディアに取り上げられ、実際に教育現場で活用される例もあった。</p> <p>「ココカラテラス！！パープルリボンキャンペーン」 アマテラス・ひなたgirls（中学生・高校生・成人） 女性や少女への暴力がなくなり、誰もがSOSを出せる社会を目指し、地元自治体でのパープルリボンキャンペーン活動の実施、県男女平等参画センターへの提案と報告などをおこなった。</p> 
<p>日能研賞 (1グループ)</p>	<p>「パープルリボン大作戦」パープルジュニア（小学生） パープルリボンキャンペーン活動の意味を学び、同年代の小学生の少女に伝えるためメッセージカードとグッズを作成、ワークショップを開催して説明するとともに手渡した。</p> 

2021年度授賞式の様子



ガールスカウトは「すべての少女と女性が自分らしく
生きられる社会」を目指して、行動する女性を育て
ます。

私たちのこれからの挑戦は「女性がその可能性を最
大限に発揮できる社会環境を作り上げていく」こと
です。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすこ
とを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をも
たらし行動を積極的におこない、貢献していきます。

